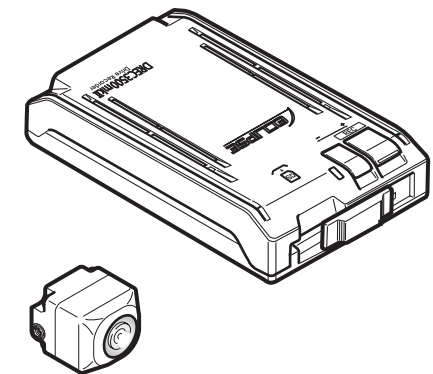
Drive Recorder

DREC3500mkⅡ

取扱説明書

お買い上げいただき、ありがとうございます。
本機を正しくお使いいただくために、
この「取扱説明書」をよくお読みください。
また、お読みになった後も、必要なときに
すぐご覧になれるよう大切に保管してください。

商品のアフターサービスに関するお問い合わせは、
お買い求めの販売店またはお客様相談窓口までお願い致します。

富士通テン株式会社
「お客様相談窓口」

フリーダイヤル　0120-022210
携帯電話・PHSからもご利用になれます。

受付時間　午前10:00～12:00、午後1:00～5:00（土･日･祝日などを除く）

お客様サポート:製品情報や適合情報、ダウンロードサービスなどがご利用になれます。
http://www.fujitsu-ten.co.jp/eclipse/support/

富士通テン株式会社
〒652-8510　神戸市兵庫区御所通1丁目2番28号
電話　神戸（078）671-5081（代表）

090002-36160700
1308MT(K)

■目　次

■ 安全に正しくお使いいただくために

この取扱説明書では、製品を安全に正しくお使いいただき、お客様や他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、以下の表示をしています。表示と内容をよく理解してから本文をお読みください。

⚠ 警告	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容
注意	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容

⚠ 警告

- 本機は DC12V/24V ⊖アース車専用です。12V/24V 車以外では使用しないでください。
- 本機を分解したり、改造しないでください。
  事故、火災、感電の原因となります。
- 電源コードの被覆を切って、他の機器の電源を取ることは絶対におやめください。
  電源コードの電流容量がオーバーし、火災、感電の原因となります。
- 音が出ないなどの故障状態で使用しないでください。
  事故・火災・感電の原因となります。
- ヒューズを交換するときは、必ず規定容量（アンペア数）のヒューズを使用してください。
  規定容量を超えるヒューズを使用すると、火災の原因となります。
- 万一、異物が入った、水がかかった、煙が出る、変な匂いがするなどの異常が起きた場合は、直ちに使用を中止し、必ずお買い上げの販売店に相談してください。
  そのまま使用すると事故、火災、感電の原因となります。
- 運転者は走行中に SD メモリーカードの抜き差しやスイッチ操作をしないでください。
  前方不注意となり事故の原因となりますので、必ず安全な場所に車を停車させてから行ってください。
- 本機が衝撃を検知するかを確かめるため故意に危険な運転をすることなどは、絶対にしないでください。
- 別売のシガーライタープラグがシガーライターソケットの形状に合わない場合は、使用しないでください。
  火災、感電の原因となります。
- 機器内部に水や異物を入れないでください。
  発煙、発火、感電の原因となります。
- 雷が鳴り出したら、本機、カメラ、スピーカー、シガーライタープラグに触れないでください。
  落雷により、感電の危険性があります。
- 本機を使用するために、禁止された場所に駐停車しないでください。
- カード挿入口に異物を入れないでください。
  火災や感電の原因となります。

⚠ 注意

● 本機を車載用として以外は使用しないでください。
感電や怪我の原因となることがあります。

● 本機は、危険運転の際の状況を記録することが目的です。イタズラその他の目的では、使用しないでください。

● 本機に、強い力やショックを与える、落とす、上に重いものをのせることはしないでください。
火災、故障の恐れがあります。

● 取付後に、オフセット設定を必ず実施してください。
衝撃を正しく検知できず、誤って作動したり、衝撃があっても作動しないことがあります。（オフセット設定については P.11 を参照してください）

● シガーライタープラグを抜くときは、プラグ部を持って抜いてください。
コードが破損し、火災、感電の原因となることがあります。

● 濡れた手でシガーライタープラグの抜き差しをしないでください。
感電の原因となることがあります。

● カード挿入口に手や指を入れないでください。
けがの原因となることがあります。

● 直射日光が当たった場合などは、金属部分が高温になり、火傷をする可能性があります。

● カメラやブラケットは、定期的に点検してください。取り付けネジの緩みや貼り付けした部分がはがれていないことを確認してください。取り付けネジの緩みがある場合は、増し締めをしてください。
本機やカメラが外れて視界や運転の妨げとなり、事故の原因となることがあります。

● フロントガラスのお手入れの際は、カメラの固定具およびカメラのコード、スピーカーのコードを強く引っ張らないでください。
カメラの固定具がはずれる恐れがあります。
（はずれた場合は、お買い上げの販売店へご相談ください。）

● 再取付時にはオフセット設定が必要です。

● 車検証シールの貼替えの際は、カメラの撮影範囲内に貼らないでください。

● クリーナーなどのスプレーや水分などを本機にかけないでください。

● 本機をコンソールボックスの蓋側など、開閉動作が行われる場所へのお取り付けは、正しく検知機能が働かないためおやめください。

本機について〔必ずお読みください〕

● 本機は衝撃を検知して映像を記録する装置ですが、すべての状況において映像を記録することを保証したものではありません。以下の場合などは、衝撃が検知できず映像が記録できないことがあります。

① 低速で衝突、または、相手車両との相対速度が小さい状態で衝突した場合
② 自車両、相手車両の衝撃緩和箇所に衝突した場合
※ ① ②バンパー、ドア、タイヤボックス等で衝撃が緩和されるので、見た目より衝撃が発生しないことがあります。
エアバッグが開かないような低衝撃の事故は検知できない場合があります。
③ 自車両に対して相手車両が軽い、または、相手が人や自転車等の場合
④ 相手車両の側面をこするように衝突した場合
※ ③ ④相手車両が軽かったり（自動車対人、自動車対自転車等）、相手車両が回転すると、衝突時の衝撃が受け流され、自車両への反発の衝撃が小さくなります。
⑤ 雪道や凍結路で急ブレーキをかけた場合
※ 雪道や凍結路では、タイヤと路面との摩擦が少なく、小さい衝撃でもスリップしますので、G センサでの検知が困難になります。また、ABS が作動していても、タイヤがロックしないように制御するだけなので、発生する衝撃は小さいままです。
⑥ 衝撃が弱く、本機が検知するように設定されたセンサ感度に満たない場合
⑦ 本機の本体が固定されていなかったり、取付後のオフセット設定（P.11 参照）が行われていないなど、本機の取付状態に問題がある場合
⑧ 大きな事故や水没などで本機が損傷を受けた場合
⑨ 大きな事故の場合などでバッテリと本機間の電源コードが断線した場合、または、バッテリが損傷を受けた場合

● 衝撃を感じても映像が記録されなかった場合や記録された映像データが破損していた場合による損害、本機の故障や本機を使用することによって生じた損害については弊社は一切責任を負いません。

● ビデオメモリーを自動モードでお使いいただく場合は、SD メモリーカードの記録が一杯になると古い映像を消して上書きします。事故などでデータの保存が必要な場合は、速やかに車両のエンジンキーをオフにしておく、または、SD メモリーカードを抜いておくなどの対応をお願いします。

● 本機は、事故の検証に役立つことも目的の一つとした製品ですが、完全な証拠としての効力を保証するものではありません。

● 本機で記録した映像は、その使用目的や使用方法によっては、被写体のプライバシーなどの権利を侵害する場合がありますのでご注意ください。また、本機をイタズラなどの目的では使用しないでください。これらの場合については弊社は一切責任を負いません。

● 本機は映像を記録する装置ですが、必ずしも信号が確認できることを保証した装置ではございません。逆光など、環境によって信号が確認できないときは、前後の映像や周辺の車両の状況から判断願います。信号が確認できない件については、弊社は一切責任を負いません。

● ＬＥＤ式信号機は目に見えない速さで点滅しているため、本機で撮影すると、点滅して撮影される場合があります。信号が映っていない場合は前後の映像や周辺の車両の状況から判断願います。ＬＥＤ式信号機が映らない件については弊社は一切責任を負いません。

● 長期間にわたり電源が供給されない状態が続くと、日時がずれる場合があります。日時が大幅にずれている場合や日時異常になった場合は、P.22 または P.43 の手順に従い日時を修正してください。

● 本機で記録した映像を見るために、下記のスペックを満たすパソコンが必要です。また、カードリーダーは含まれていませんので、ご使用のパソコンに接続可能なカードリーダーを別途ご購入願います。

パソコンの必要条件	
OS	Windows XP 日本語版（SP3 以降）32 ビット版のみ *1 Windows Vista 日本語版（SP2 以降）32 ビット版、64 ビット版 *1 Windows 7 日本語版 32 ビット版、64 ビット版 *1 Windows 8*2 日本語版 32 ビット版、64 ビット版 *1
CPU	Pentium III 800MHz 以上 *3
メモリ	128MB 以上 *3
ディスプレイ	1024 × 768 ピクセル以上、High Color(16 ビット) 以上
サウンド	Windows で使用可能な PCM サウンド再生機能
その他	Internet Explorer 4.0 以降 USB 2.0、USB 3.0 または PCMCIA スロット経由で SD メモリーカードにアクセスできること

＊ 1 上記 OS 以外のバージョンの OS 上で起動させた場合、アプリケーションの動作は保証されません。
＊ 2 タブレット PC を始めとするタッチパネルでの動作は保証対象外です。
＊ 3 Windows XP の場合です。Windows Vista および Windows 7、Windows 8 については、Microsoft 社の推奨システム要件が必要です。

● ご使用のパソコンによっては、再生時に映像が乱れたり音声が途切れたりする場合があります。その際は、ビューアーソフトを終了させ、再度ビューアーソフトを起動して映像を再生してください。

● Windows XP、Windows Vista、Windows 7、Windows 8 は米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標です。
その他、本文中に掲載されている会社名、商品名は各社の商標または登録商標です。

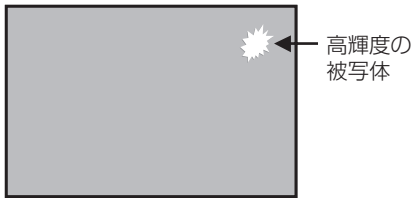
■ 使用上のご注意

- 取り付け後、取扱説明書の動作確認手順に従い、正しく動作していることを確認してください。
- 極端な高温や低温でのご使用は、誤作動や故障の原因となります。とくに夏期は車内が高温になることがありますので、窓を開けるなどして温度を下げてからご使用ください。
- 本機には､必ず添付のSDメモリーカードを使用してください。添付品以外では正しく動作しません。
  SD メモリーカードを挿入口から挿入してお使いください。
  SD メモリーカードを挿入しない場合、本機は動作しません。
- SD メモリーカードを本機に挿入する場合、向きに注意して挿入してください。SD メモリーカードを挿入したあとは、カードロック扉をカチッと音がするまで左にスライドさせてください。
- SD メモリーカードの抜き挿しは、本機の電源が切れていること（全てのＬＥＤが消灯）を確認して行ってください。本機が動作中に SD メモリーカードの抜き挿しを行うと、SD メモリーカードが破損する恐れがあります。
- SD メモリーカードへのデータ書込み中（赤ＬＥＤが点灯中）は、絶対に SD メモリーカードを抜かないでください。SD メモリーカードが破損するだけでなく、本機が故障する恐れがあります。
- SD メモリーカードを抜く場合、本機の電源が切れていること（全てのＬＥＤが消灯）を確認のうえ、カードロック扉を右にスライドし、SD メモリーカードの中央付近を軽く押し込み、手を離してください。SD メモリーカードが少し飛び出しますので、SD メモリーカードを取り出してください。
- SD メモリーカードには、本機で記録されるデータ以外を保存しないでください。正しく映像が記録されないことがあります。
- カメラレンズの特性により、画面に映る人や障害物は、実際の位置や距離と異なって見えることがあります。
- カメラ部を強くたたいたり、物をぶつけるなどの強い衝撃を与えないでください。カメラやスピーカーの故障や破損の原因になります。
- カメラ部への直火やドライヤー、熱湯での急激な温度変化を与えると、故障や破損の原因になります。
- カメラ本体およびレンズ部分、ブラケット、カメラコードをアルコール、ベンジン、シンナー、ガソリン等揮発生の薬品類で拭かないでください。変形や変質、破損の原因になります。
- 磨き砂等が配合された洗剤で拭かないでください。キズの原因になります。

● カメラレンズ部分が汚れている場合は、水を含ませた柔らかい布などで軽く拭いてください。乾いた布で強くこするとキズの原因になります。

● カメラコードにキズをつけないでください。キズ部分からカメラ内部に湿気や水が吸い込まれ故障や火災、感電の原因になります。

● フロントガラスに水滴がついているとき、汚れているときなどは、撮影した映像が見づらくなる場合があります。

● 太陽光やヘッドライトなど高輝度の被写体がカメラに映ると、映像素子特有のブルーミング現象（※）が発生したり、その光源中心部分が黒く映ることがありますが、カメラの異常ではありません。

（※）ブルーミング現象：
高輝度の被写体（太陽やヘッドライトなど）がカメラに映ると、光周辺に白飽和が発生する

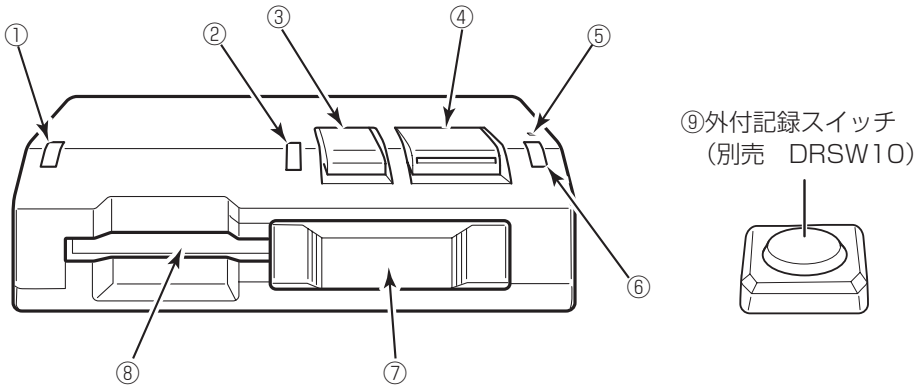
● 本機の日時を定期的に確認してください。日時がずれている場合は、P.22 または P.43 の手順で日時を修正してください。

● 本機は、別売のシガーライタープラグを使用することで簡易に電源を取れるようになっておりますが、車両によってはバッテリから電源供給されており、バッテリ上がりになる場合がありますので、同梱の接続コードを使用することをお勧めいたします。

● シガーライターソケットから電源をとる場合、エンジンキーオフでシガーライター電源がオフになることを確認してください。エンジンキーオフでシガーライター電源がオフにならない車両は、シガーライタープラグの抜き忘れで、バッテリ上がりの恐れがあるため、シガーライター電源は使用しないでください。

● シガーライタープラグは、奥までしっかりと差し込んでください。シガーライターソケットの口径に合わせて、シガープラグのスライドスイッチを、N側またはW側に切替えて使用してください。
差し込んだ後、がたつきがあったり、簡単に抜けてしまう場合は、使用しないでください。火災、感電の原因となります。

■ 各部の名称とはたらき

本機

① 緑 LED
点灯しているときは、再生モードまたは設定モード時です。
また、他の LED とともに点滅しているときは、本機に異常がある場合です。「LED 表示、案内音、ガイダンス音声による異常通知」（P.10）を参照してください。

② 青 LED
点灯しているときは、衝撃検知可能、記録可能、アプリケーションのバージョンアップ状態です。
他の LED とともに点滅しているときは、本機に異常がある場合です。「LED 表示、案内音、ガイダンス音声による異常通知」(P.10) を参照してください。

③ 切換スイッチ（－ボタン）
モード切換操作、トップ画面、選択画面での選択・終了操作に使用します。

④ 記録スイッチ（＋ボタン）
モード切換操作、映像記録・再生操作、トップ画面、選択画面での選択・決定操作に使用します。

⑤ マイク（集音部）
音声を記録します。

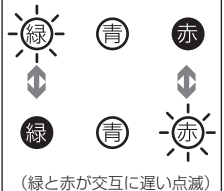
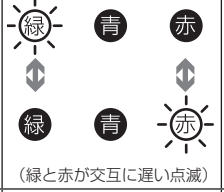
⑥ 赤 LED
点灯しているときは、映像記録中です。
他の LED とともに点滅しているときは、本機に異常がある場合です。「LED 表示、案内音、ガイダンス音声による異常通知」(P.10) を参照してください。

⑦ カードロック扉
SD メモリーカードを抜き差しするときに使用します。
左へスライドすると閉じ、右へスライドすると開きます。

⑧ カード挿入口
使用する SD メモリーカードをここへ挿入してください。

⑨外付記録スイッチ (別売 DRSW10)
映像記録、再生操作、トップ画面、選択画面での選択・決定操作に使用します。

■ LED 表示、案内音、ガイダンス音声による異常通知

LED 表示、案内音、ガイダンス音声によって本機の状態をお知らせする機能があります。
ここでは、本機に異常があった場合の状態、原因、対処について説明します。
LED 状態の記号は、以下のとおりです。
○：点灯状態　●：消灯状態　☼：点滅状態　記号の中の色名は LED の色
速い点滅：点灯（0.5 秒）／消灯（0.5 秒）の繰り返し
遅い点滅：点灯（0.5 秒）／消灯（1.5 秒）の繰り返し

また、スイッチ操作を行ったとき、映像を記録するとき、動作モードが切り替わったときなどにも、LED が点灯したり、案内音が鳴ったりします。正常動作時の LED 表示、案内音については各操作説明を参照してください。

案内音／ガイダンス音声	LED 状態	原因	対処
ピーピピピピピ	緑 青 赤（遅い点滅）または 赤 ＊ 1	記録される日時が異常になっている。	本機の日時を修正してください。（→ P.22、P.43）
「オフセット設定をしてください」	緑 青 赤 ⇕ 緑 青 赤（緑と赤が交互に遅い点滅）	オフセット設定未実施。	設定をし直してください。本体が固定されていることを確認してオフセット設定を実施してください。（→ P.11）
「もう一度オフセット設定をしてください」	緑 青 赤 ⇕ 緑 青 赤（緑と赤が交互に遅い点滅）	オフセット設定実施後、設置場所・方向が変更されている。	
ピーッピーッピーッ‥（鳴り続ける）＊ 2	緑 青 赤 ←（遅い点滅）→	カードロック扉が開いたままになっている。SD メモリーカードが挿入されていない。	SD メモリーカードを挿入し、カードロック扉を閉じてください。
ピーピーピーピーピー（5 回鳴り、それを繰り返す）	緑 青 赤 ←（遅い点滅）→	SD メモリーカードのフォーマット異常の可能性がある。	SD メモリーカードをフォーマットしてください。（→ P.45）

案内音／ガイダンス音声	LED 状態	原因	対処
ピープーピープー・・（鳴り続ける）＊２	緑 青 赤 ⇕ 緑 青 赤（緑、赤と青が交互に速い点滅）	ハード異常。	電源を入れなおしてください。復帰しない場合は、本体の取り付け、接続、カメラ配線の接続を確認してください。
ピーーッピーーッピーーッ・・（鳴り続ける）＊２	緑 青 赤 ←（遅い点滅）→	SD メモリーカードが書き込み禁止になっている。	SD メモリーカードの「LOCK」を解除し、SD メモリーカードを再挿入してください。
プープープー（3 回鳴る）＊３		映像記録中に記録スイッチ（＋ボタン）が押された。	映像記録中に記録スイッチ（＋ボタン）を押すと、記録できない場合があります。
		記録スイッチ（＋ボタン）を押してない時に鳴る場合、映像の保存ができなかった。	SD メモリーカードの異常が考えられます。フォーマットしてください。（→ P.45）
ポーン「危険運転です」＊４		衝撃を検知した。	

＊１：映像の書き込み状態により異なる場合があります。
＊２：記録スイッチ（＋ボタン）を押すと案内音が止まりますが、本機は動作していませんのでご注意ください。
＊３：イベント音量設定により音量設定できます（P.22、P.38 参照）。音量の初期値は「標準」に設定されています。
＊４：エコガイダンス音量設定により音量設定できます（P.22、P.38 参照）。なお、その他のガイダンス音声については、「エコガイダンスを行う」（P.17）を参照してください。

ワンポイント

＜オフセット設定について＞

取付位置の変更や乗せ替えを行った場合も、必ずオフセット設定が必要です。

正しいオフセットができていない場合は、検知をしすぎてしまったり、検知ができない場合があります。

車両を水平な場所に停車した状態にして、以下の手順でオフセット設定を行ってください。

① 本体電源が切れている状態で、SD メモリーカードを本体に挿入して、カードロック扉を閉めてください。
② 記録スイッチ（＋ボタン）を押しながら、車のエンジンキーをオンにしてください。
③ 「オフセット設定しました」とガイダンスが流れたら設定完了ですので、手を離してください。

※ ガイダンスが確認できない場合は、再度オフセット設定を行ってください。

■ 本体の操作方法

本機は走行中の映像と音声を SD メモリーカードに記録し、車載モニターなどの画面で見ることができます。
ここでは、本機の使い方、設定の変更方法を説明します。

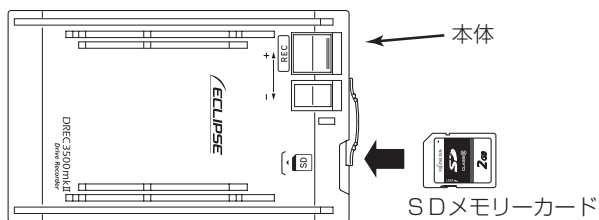
1 起動する

本機の電源は車両のエンジンキーと連動しています。エンジンキーを回す前に、本手順にしたがって SD メモリーカードの有無を確認してください。

1. 本機の電源が切れている状態で、SD メモリーカードが挿入されていることを確認します。

⚠ 注意

SD メモリーカードが挿入されていない場合は、以下の注意を守って SD メモリーカードを挿入してください。

- 本機の電源が切れていること (本機の LED が消灯している状態)
  本機が動作中に SD メモリーカードの抜き差しを行うと、SD メモリーカードが破損する場合があります。
- SD メモリーカードの書き込み禁止スイッチが「LOCK」解除の状態であること。
- SD メモリーカードを本機に挿入する場合は、向きに注意して挿入すること。
- SD メモリーカードは、カチッと音がするまで挿入してください。
- SD メモリーカードを挿入したら、カードロック扉を左へスライドして閉じてください。

2. 車両のエンジンキーをオンにします。

電源が入り、本機の青 LED が点灯します。(ビデオメモリーが自動モードの時は、赤 LED も点灯します。)

ワンポイント

「起動しました」というガイダンスが流れると起動完了です (約 9 秒かかります)。

2 終了する

1. **車両のエンジンキーをオフにします。全てのＬＥＤが消灯すると、電源が切れた状態です。**

2. **記録した映像をパソコンで見たい場合は、ＳＤメモリーカードを取り出します。**
   カードロック扉を右にスライドさせ、SD メモリーカードの中央付近を軽く押し込み、手を離してください。SD メモリーカードが少し飛び出します。

⚠ 注意

●ＳＤメモリーカードへのデータ書込み中（赤ＬＥＤが点灯中）は、絶対にＳＤメモリーカードを抜かないでください。ＳＤメモリーカードが破損するだけでなく、本機が故障する恐れがあります。

●ＳＤメモリーカードを抜く場合、本機の電源が切れていること（全てのＬＥＤが消灯）を確認のうえ、カードロック扉を右にスライドし、SD メモリーカードの中央付近を軽く押し込み、手を離してください。SD メモリーカードが少し飛び出しますので、SD メモリーカードを取り出してください。

●ＳＤメモリーカードを挿入しない場合、本機は動作しません。ＳＤメモリーカードを取り出した場合は、入れ忘れにご注意ください。ＳＤメモリーカードが無い場合は、案内音が「ピーッピーッピーッ ・ ・ ・」と鳴りつづけます。

3 映像と音声を記録する（記録モード）

映像と音声の記録方法は、イベントメモリーとビデオメモリーの 2 種類があります。

●イベントメモリー・・・ 加速度や衝撃を検知した時に自動的に記録を行う（オート）
スイッチ操作を行い、手動で記録を行う（マニュアル）
（検知･操作）前 12 秒、後 8 秒の 20 秒間の映像と音声を記録します。

●ビデオメモリー・・・・ エンジンをオンにしてからオフにするまで自動的に記録を行う（自動モード）
記録スイッチ（＋ボタン）を押してから、次にスイッチ操作を行うまで手動で記録を行う（手動モード）
最長 40 分間の映像と音声を記録します。

■イベントメモリーの場合

イベントメモリーは以下の場合に動作を開始します。

（オート）： 急ブレーキ、急ハンドルによる加速度や衝撃を検知した場合に自動で記録を開始
※「ピピッ」という案内音で記録を開始します。
記録できる映像は 20 件です。これを超える場合は、古い映像から上書きされます。

（マニュアル）：本体の記録スイッチ（＋ボタン）を押し、手動で記録を開始
※「プッ」という案内音を確認してから２秒以内に手を離してください。
記録できる映像は 10 件です。これを超える場合は、古い映像から上書きされます。

記録中は赤 LED が点灯します。「ピプッ」という案内音が鳴り、赤 LED が消灯すると記録終了です。（ビデオメモリー記録中は赤 LED は消灯しません。）

なお、事故が発生した場合も、衝撃が弱いなどの原因で衝撃を検知できない場合があります。その場合は、記録スイッチ（＋ボタン）を押して（マニュアル）映像の記録を行ってください。

⚠ 注意

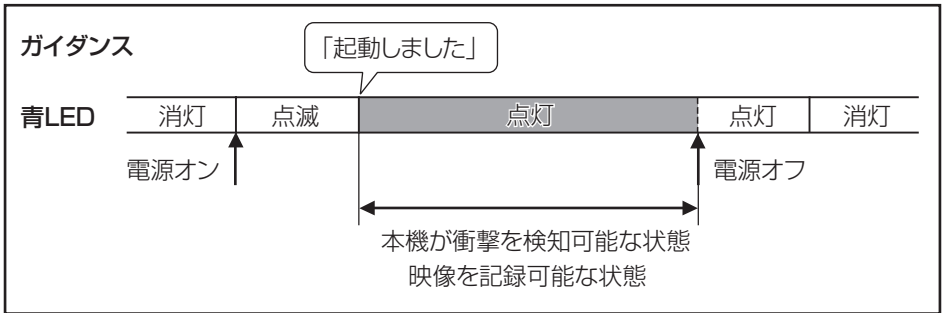
ＳＤメモリーカードへの記録中（赤ＬＥＤが点灯中）は、絶対にＳＤメモリーカードを抜かないでください。ＳＤメモリーカードが破損するだけでなく、本機が故障する恐れがあります。

一度検知してから次の検知までの間隔により、映像が短い場合や長い場合があります。

⚠ **注意**

安全のため運転中に操作しないでください。運転中の操作は事故につながる恐れがあります。車を停車させてから操作してください。

イベントの検知と記録可能な状態

本機が衝撃を検知し映像を記録できる状態は、正常に起動してから電源をオフするまで（下図の網掛範囲）です。

バックアップ電源について

本機は、事故の衝撃で電源が遮断される場合を想定し、バックアップ電源を内蔵しています。バックアップ電源は充電式のため、電源オン直後や低温下では、バックアップ時間が短くなる場合があります。バックアップ電源により、電源遮断前（※）の映像を記録しますが、必ず記録することを保証するものではありません。

※映像のコマ数が少なくなり、記録時間も短くなります。

■ビデオメモリーの場合

ビデオメモリーには、自動モードと手動モードの動作があり、以下のように動作が異なります。

（自動モード）：エンジンキーをオンにしてからオフにするまでの間、映像と音声を記録し続ける
※ SD メモリーカードの記録容量上限に達したときは、古いフォルダから上書きされ、ビデオメモリーが続行されます。

（手動モード）：記録スイッチ（＋ボタン）を押してから、動作が終了するまで映像と音声を記録し続ける

ワンポイント

●ビデオモードの動作は、ビデオメモリー設定画面（P.23）で設定できます。初期状態は「自動モード」です。

●手動モードには、「手動モード（上書きなし）」と「手動モード（上書きあり）」の設定があります。
「手動モード（上書きなし）」に設定した場合、SD メモリーカードの記録容量上限に達したときに、ビデオメモリーの映像を消去しないと、ビデオメモリーを続行できません。
「手動モード（上書きあり）」に設定した場合、SD メモリーカードの記録容量上限に達したときは、古いフォルダから上書きされ、ビデオメモリーが 40 分間続行されます。
ただし、記録容量上限に達した時点でいったん動作が終了しますので、引き続き記録し続けるときは、記録スイッチ（＋ボタン）を 3 秒以上押してください。

動作の開始

ビデオメモリーは以下の操作で開始します。

・ エンジンキーをオンにする（自動モード）
・ 記録スイッチ（＋ボタン）を 3 秒以上押し続ける（手動モード）
※「ププププッ」というブザー音を確認してから手を離してください。

動作の終了

ビデオメモリーは以下の操作で終了します。

・ エンジンキーをオフにする（自動モード、手動モード）
・ ビデオメモリー動作中に、記録スイッチ（＋ボタン）を 3 秒以上押し続ける（手動モードのみ）
・ SD メモリーカードの記録容量上限に達したとき、または記録時間が 40 分に達したとき（手動モード）

ワンポイント

●ビデオメモリーで撮影できる映像は最長４０分です。

●記録スイッチ（＋ボタン）を 3 秒以上押し続けると案内音が「ププププッ」と鳴ります（手動モード時）。

4 エコガイダンスを行う

■ 危険運転ガイダンス

急ブレーキ、急ハンドルなどによる加速度や衝撃を検知した場合に、「危険運転です」とガイダンスを行います。

■ 運転診断ガイダンス

ドライブレコーダー起動後 15 分間の走行状態から運転傾向を分析し、以下のガイダンスを行います。

条件	ガイダンス内容
優	「そのまま安全運転を続けてください」
良	「安全運転を心掛けてください」
可	「運転に注意してください」

■ 長時間運転ガイダンス

ドライブレコーダー起動後 2 時間毎に「長時間の運転、お疲れ様です。そろそろ休憩してはいかがですか？」とのガイダンスを行います。

ガイダンス音量の設定について

ガイダンス音量は音量設定画面、またはビューアーソフトで設定できます。
「音量設定画面」(P.22)、または「本体の設定を変更する」(P.38) を参照してください。

5 記録した映像を見る（再生モード）

ビデオ出力コード DRV020（別売）を用いてＳＤメモリーカードに保存されている映像を車載モニターなどの画面で見ることができます。
車載モニターへの接続がない場合は、ビューアーソフトで映像を見ることができます(P.28 参照)。
再生モード中は映像を記録することはできません。

■再生モードへの切り替え方

1. 記録モード動作中に、切換スイッチ（－ボタン）を押したまま、記録スイッチ（＋ボタン）を押します。
１秒以上経過した時点で「ピッ」と案内音が鳴り、再生モードに切り替わります。

> ⚠ **注意**
> ●イベントメモリー、ビデオメモリー（手動モード）の動作中は、再生モードに切り替わりません。
> 記録が終了している状態で、再生モードに切り替えてください。
> ●車載モニター画面は、VTR 操作画面にしてください。

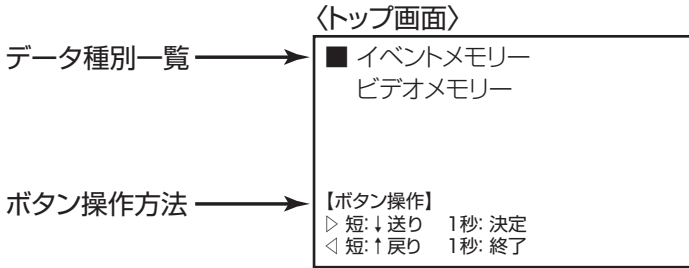
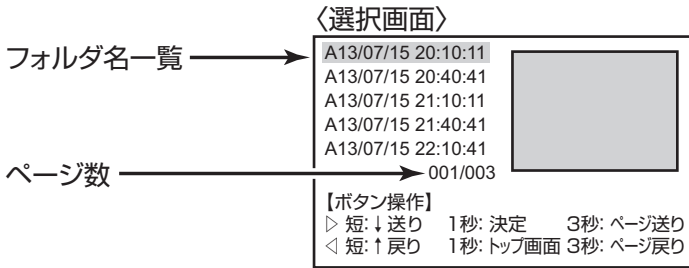
■記録モードへの切り替え方

下の３つの状態で再生モードから記録モードに切り替わります。

- 操作しないまま１分が経過する。
  ※再生中の場合は切り替わりません。
- トップ画面にて切換スイッチ（－ボタン）を１秒押す。
- 電源をオフにする。（次回起動時に記録モードに切り替わります）

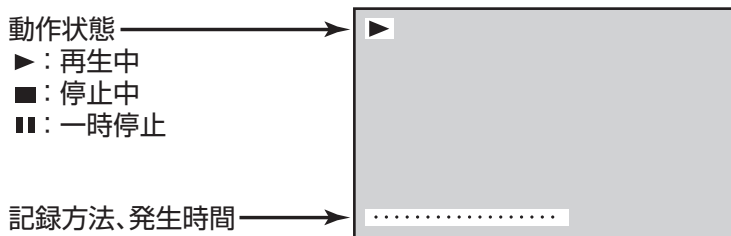
■再生モードの操作方法と表示

再生モードに切り替わると、注意文が表示され、３秒後トップ画面が表示されます。

1. トップ画面で記録したデータ種別から、＋ボタンや－ボタンを押して選び、＋ボタンを 1 秒押します。

2. フォルダ名一覧から＋ボタンや－ボタンを押して再生したい映像を選び、＋ボタンを 1 秒押します。

ワンポイント

- ＋ボタンまたは－ボタンを 3 秒押すとページを変更することが出来ます。
- ページ数が複数ある場合もすべてのページで、－ボタンを 1 秒押すとトップ画面にもどることができます。
- フォルダ名一覧は新しい映像から順番に並んでいます。
- ＋ボタンまたは－ボタンを短押しすると「プッ」、1 秒押すと「ププッ」、3 秒押すと「プププッ」という案内音が鳴ります。

・映像再生の場合

画面の左下に「記録方法（A：イベントメモリー（オート）記録、M：イベントメモリー（マニュアル）記録、L：ビデオメモリー)」と「発生時間」を常に表示します。
画面の左上に、「動作状態（再生中、停止中、一時停止)」を表示します。

1. 映像再生中に＋ボタンを押すと、再生を停止します。（一時停止）
一時停止中に＋ボタンを押すと、再生を再開します。

2. 再生完了（停止）した状態で＋ボタンを押すと、最初から再生します。

3. ＋ボタンを 1 秒押すと、1 つ古い映像を再生します。
（最も古い映像だった場合は最新の映像を再生します。）
また、－ボタンを 1 秒押すと、1 つ新しい映像を再生します。
（最新の映像だった場合は最も古い映像を再生します。）

4. 再生中・一時停止中・停止中全ての画面で、－ボタンを 3 秒押すと選択画面にもどることができます。

ワンポイント

●ＳＤメモリーカード内に映像データがない状態で＋ボタンを押すと、画面に「No Data」と表示されます。
●イベントメモリー（オート）記録、イベントメモリー（マニュアル）記録では一時停止から再生を再開するとき、一時停止した 1 秒前から再生します。

6 本体の設定を変更する（設定モード）

■設定モードへの切り替え方

設定モード中は映像を記録することはできません。

車載モニターへの接続がない場合は、ビューアーソフトで設定を変更することができます（P.38 参照）。

1. 車両のエンジンキーをオフにし、全ての LED が消灯していることを確認した状態でカードロック扉を開きます。

2. 車両のエンジンキーをオンにします。

「ピーッピーッピーッ…」と案内音が鳴り始めます。

3. 切換スイッチ（－ボタン）を押したまま記録スイッチ（＋ボタン）を押し、そのままカードロック扉を閉じます。

設定モードに切り替わります。

> ⚠ **注意**
>
> 赤ＬＥＤが点灯中（書込中）にカードロック扉を開くと、ＳＤメモリーカードが破損する恐れがあります。必ず、赤ＬＥＤが消えていることを確認してください。

■記録モードへの切り替え方

下の 2 つの状態で設定モードから記録モードに切り替わります。

・トップ画面にて切換スイッチ（－ボタン）を 1 秒押す。
・電源をオフにする。（次回起動時に記録モードに切り替わります）

■設定モードの操作方法と表示

1. 設定モードを切り替わると、トップ画面が表示されます。
トップ画面で設定したい項目を＋ボタンを押して選び、＋ボタンを 1 秒押します。

〈トップ画面〉

《設定モード》
1. 時刻設定
2. 音量設定
3. ビデオメモリー設定

【ボタン操作】
▷ 短: ↓送り　1秒: 決定
◁ 短: ↑戻り　1秒: 終了

・時刻設定画面

1. ＋ボタンを押すと数値が上がります。
また、－ボタンを押すと数値が下がります。

2. ＋ボタンを 1 秒押すと、年→月→日→時→分の順に移動します。
また、－ボタンを 1 秒押すと、逆の順に移動します。

3. ＋ボタンを 3 秒以上押し続けると、その間は数値が自動的に上がります。
また、－ボタンを 3 秒以上押し続けると、その間は数値が自動的に下がります。

〈時刻設定画面〉

※1

《時刻設定》

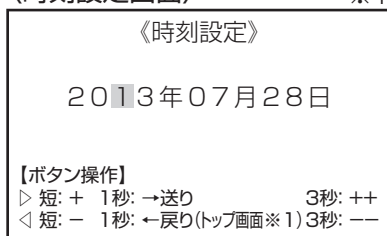
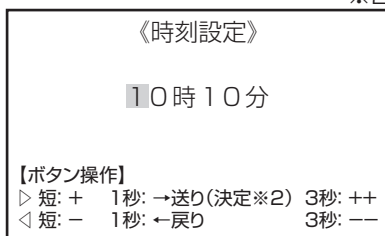
２０１３年０７月２８日

【ボタン操作】
▷ 短: ＋　1秒: →送り　3秒: ++
◁ 短: －　1秒: ←戻り(トップ画面※１) 3秒: −−

※2

《時刻設定》

１０時１０分

【ボタン操作】
▷ 短: ＋　1秒: →送り(決定※2)　3秒: ++
◁ 短: －　1秒: ←戻り　3秒: −−

※1：最初の桁で－ボタンを1秒押すとトップ画面へ戻ります。
※2：最後の桁で＋ボタンを1秒押すと決定され、トップ画面へ戻ります。

上記の操作の途中で終了した場合、変更した設定は保存されません。

●設定が完了したら、高い「ピピッ」という案内音が鳴ります。

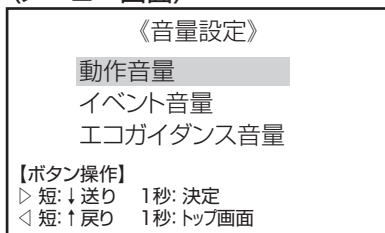
・音量設定画面

1. ＋ボタンまたは－ボタンを押して音量設定したい項目を選び、＋ボタンを 1 秒押します。

〈メニュー画面〉

《音量設定》

動作音量
イベント音量
エコガイダンス音量

【ボタン操作】
▷ 短: ↓送り　1秒: 決定
◁ 短: ↑戻り　1秒: トップ画面

ワンポイント

●動作音量は起動終了やイベントメモリー（オート）のときに鳴る案内音です。イベント音量はスイッチ操作や映像を正常に保存したときに鳴る案内音です。

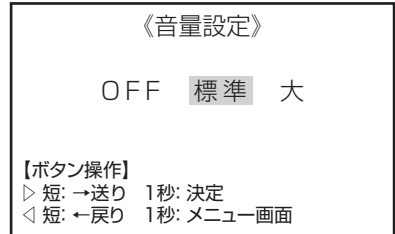
●音量設定で設定できるガイダンス音声の内容は、「エコガイダンスを行う」（P.17）を参照してください。

2. ＋ボタンまたは－ボタンを押して「OFF」、「標準」、「大」の中から選び、＋ボタンを 1 秒押します。

〈音量設定画面〉

《音量設定》

OFF　標準　大

【ボタン操作】
▷ 短: →送り　1秒: 決定
◁ 短: ←戻り　1秒: メニュー画面

ワンポイント

●設定が完了したら、高い「ピピッ」という案内音が鳴ります。

●音量設定を OFF にしても、異常通知の案内音、ガイダンス音は鳴ります。

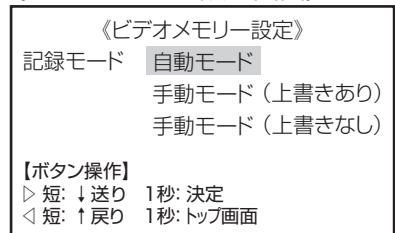
・ビデオメモリー設定画面

1. ＋ボタンまたは－ボタンを押して「自動モード」、「手動モード（上書きあり）」、または「手動モード（上書きなし）」の中から選び、＋ボタンを 1 秒押します。

〈ビデオメモリー設定画面〉

《ビデオメモリー設定》

記録モード　自動モード
手動モード（上書きあり）
手動モード（上書きなし）

【ボタン操作】
▷ 短: ↓送り　1秒: 決定
◁ 短: ↑戻り　1秒: トップ画面

ワンポイント

●設定が完了したら、高い「ピピッ」という案内音が鳴ります。

7 ドライブレコーダー本体のアプリケーションをバージョンアップする

ドライブレコーダー本体のバージョンアップが必要になった場合は、弊社ホームページ(下記ＵＲＬ)にてご案内させていただきます。
その際は、最新のアプリケーションソフトをダウンロードし、バージョンアップ作業を行なってください。

http://www.e-iserv.jp/top/

1. 本機の電源を切り、新しいアプリケーションの入った SD メモリーカードを挿入してください。また、カードロック扉が閉まっていることを確認してください。

2. 車両のエンジンキーをオンにして、電源を入れてください。
青LEDが点灯します。この後、「ピーピーピピピッ」と案内音が鳴るとバージョンアップが始まります。
しばらくすると、LED が消灯します。バージョンアップが完了し、自動的にアプリケーションが再起動します。

⚠ 注意

●ＳＤメモリーカードを使用しての本体バージョンアップ中（青ＬＥＤが点滅中）は、絶対にＳＤメモリーカードを抜かないでください。ＳＤメモリーカードが破損するだけでなく、本機が故障する恐れがあります。
●ＳＤメモリーカードを抜く場合、本機の電源が切れていること（全てのＬＥＤが消灯）を確認のうえ、カードロック扉を右にスライドし、SD メモリーカードの中央付近を軽く押し込み、手を離してください。SD メモリーカードが少し飛び出しますので、SD メモリーカードを取り出してください。
●ＳＤメモリーカードを挿入しない場合、本機は動作しません。ＳＤメモリーカードを取り出した場合は、入れ忘れにご注意ください。ＳＤメモリーカードが無い場合は、案内音が「ピーッピーッピーッ・・・」と鳴りつづけます。
●バージョンアップ中にオフセット設定を行うことはできません。バージョンアップが完了して再起動した後にオフセット設定を行ってください（P.11 参照）。
●弊社ホームページは、2 か月に 1 回程度の割合で、メンテナンスのために 1 日中アクセスできなくなることがあります。予めご了承ください。

■ ビューアーソフトの操作方法

本機で記録した映像と音声はパソコンで再生できます。再生には専用のビューアーソフトを使います。ここでは、ビューアーソフトの使い方を説明します。

> ⚠ **注意**
> パソコンの画面は Windows 7 Home Premium Edition のものです。OS や設定によって画面の表示が異なる場合があります。

1 ビューアーソフトをコピーする

ビューアーソフトは付属の SD メモリーカードにあらかじめ保存されています。ビューアーソフトをパソコンで使用するために、デスクトップへコピーします。

1. SD メモリーカードを、カードリーダなどを使用してパソコンに挿入します。

> ⚠ **注意**
> ●SD メモリーカードスロットが搭載されているパソコンでは、SD メモリーカードスロットへそのまま挿入することができます。SD メモリーカードスロットが搭載されていないパソコンの場合は、お客様でカードリーダーをご準備ください。
> ●お使いのパソコンによっては、SD メモリーカードスロットのドライブ文字が異なる場合があります。

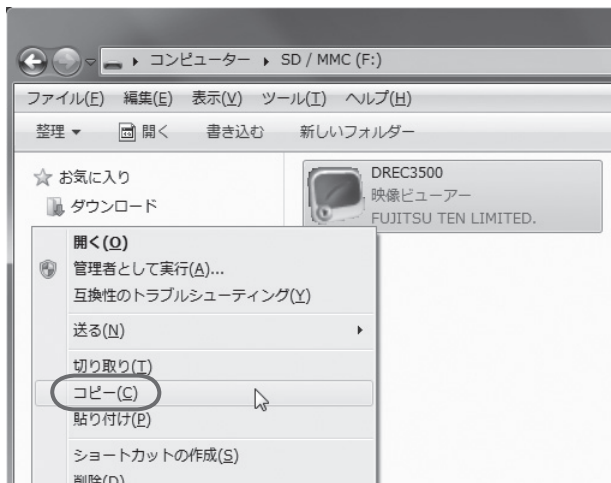
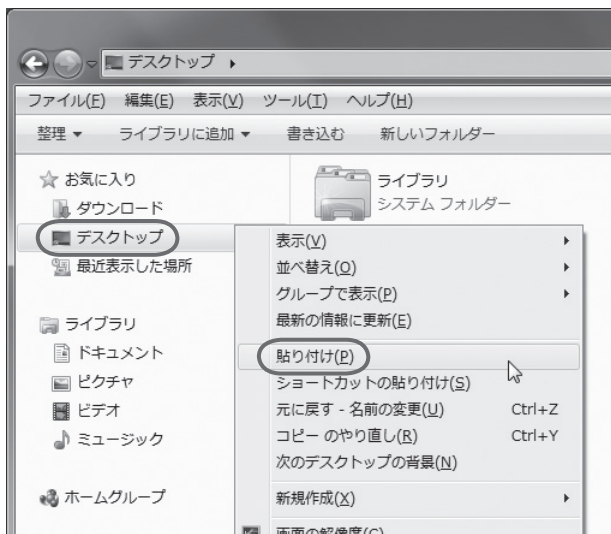
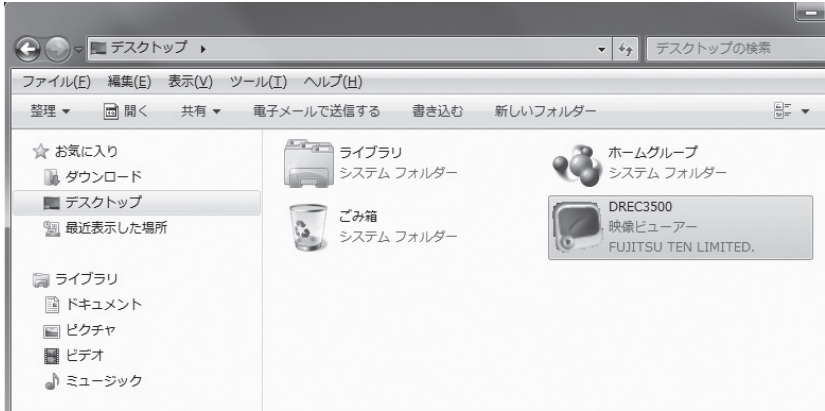
2. キーボードのウィンドウズキー（⊞）と E キーを同時に押します。

エクスプローラーが起動します。

3. SD メモリーカードのドライブを選択します。

⚠ 注意

お使いのパソコンの設定によっては、ビューアーソフト以外のファイルが表示される場合があります。本体の動作を記録したファイルですので、削除しないようにご注意ください。

4. 「DREC3500」をマウスで右クリックし、「コピー」を選択します。

5. 「デスクトップ」を選択して、右の枠内をマウスで右クリックし「貼り付け」を選択します。

6. 「DREC3500」がデスクトップへコピーされます。

ワンポイント

ビューアーソフトはバックアップとして任意の場所へコピーすることをお勧めします。
もし誤ってビューアーソフトを消してしまった場合は、専用サイトよりダウンロード可能です。

⇒「ビューアーソフトを消してしまった場合」（P.49）参照

2 記録した映像を見る

記録した映像を、ビューアーソフトで見ることができます。
以下の手順でビューアーソフトを起動し、映像を再生します。

1. 本体から抜いたＳＤメモリーカードを、カードリーダーなどを使用してパソコンへ挿入します。

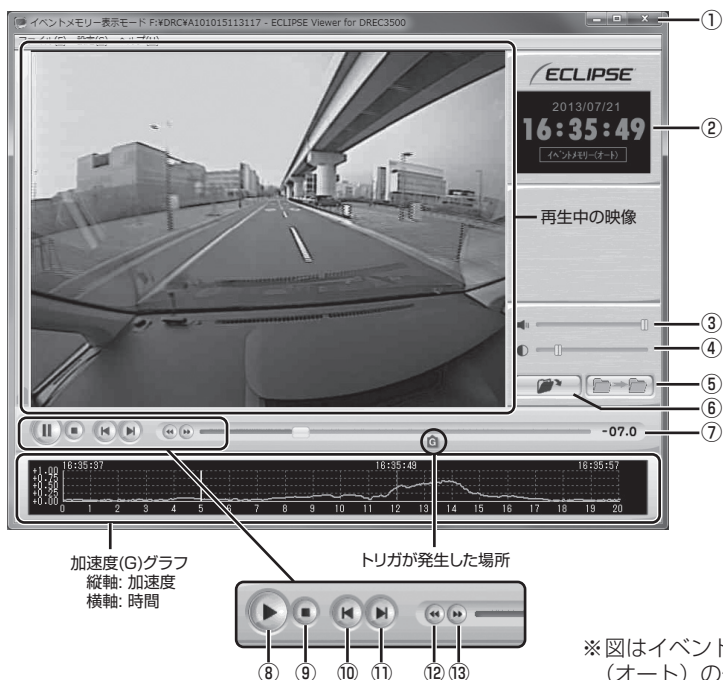
⚠ 注意
お使いのパソコンの設定によっては、SD メモリーカードを挿入したときに「Windows が実行する動作を選んでください」というダイアログが表示されます。その場合は、「キャンセル」ボタンをクリックするか、「何もしない」を選択するか、または右上の「×」ボタンでダイアログを閉じてください。

2. デスクトップの「DREC3500」をダブルクリックします。

3. ビューアーソフトが起動します。

4. 見たい映像のフォルダを指定します。［ボタン］ボタンをクリックします（またはメニューの「ファイル」－「開く」を選択します）。
フォルダ構成については、P.33 を参照してください。

5. ＳＤメモリーカードのドライブを指定し、DRC または LNG のフォルダを選択し、左下のデータ種別から表示モードを選び [OK] ボタンをクリックします。

ビューアーに指定した表示モードで映像が読み込まれ、自動再生が始まります。

※図はイベントメモリー（オート）の例です。

① ビューアーを終了します。

② 指定した映像の撮影日時とトリガ種別を表示します。
映像の一部がバックアップ電源で記録された場合は、 を表示します。

③ 音量を調整します。
設定範囲 :0 ～ 16
数値を大きくすると、音量が大きくなります。

④ 映像の明るさを調整します。
設定範囲 :0.1 ～ 5.0
数値を大きくすると、映像が明るくなります。

⑤ 再生モードを切り替えます。
ビデオメモリーの映像再生中にクリックすると、自動再生と手動再生の 2 つの再生モードが切り替わります。
（自動再生）: 選択したフォルダ内の映像がすべて再生されると、自動的に次のフォルダ内の映像を再生します。
（手動再生）: 選択したフォルダ内の映像がすべて再生されると、再生が終了します。

⑥ 再生する映像を指定します。

⑦ イベントメモリーの場合：現在のフレーム時刻とトリガ発生時刻との差を表示します。
ビデオメモリーの場合：何も表示されません。

⑧ 映像を再生します。
再生中は一時停止ボタン（ ）となります。

⑨ 再生を停止します。

⑩ 一つ前のフォルダ内の映像を再生します。

⑪ 一つ後のフォルダ内の映像を再生します。

⑫ イベントメモリーの場合：一つ前のコマを表示します。
ビデオメモリーの場合：一つ前のチャプターの先頭から再生します。

⑬ イベントメモリーの場合：一つ後のコマを表示します。
ビデオメモリーの場合：一つ後のチャプターの先頭から再生します。

ワンポイント

●ビデオメモリーの場合、トラックバーを移動させるとつまみで指定した位置から再生を行います。

6. 終了する場合は、☒ ボタンをクリックします（またはメニューの「ファイル」ー「終了」を選択します）。

ワンポイント

SD メモリーカードに保持しておける映像の数は限られています。必要に応じて、SD メモリーカードの映像データをパソコンのハードディスクに保存してください。

⇒「記録した映像をパソコンに保存する」（P.34）参照

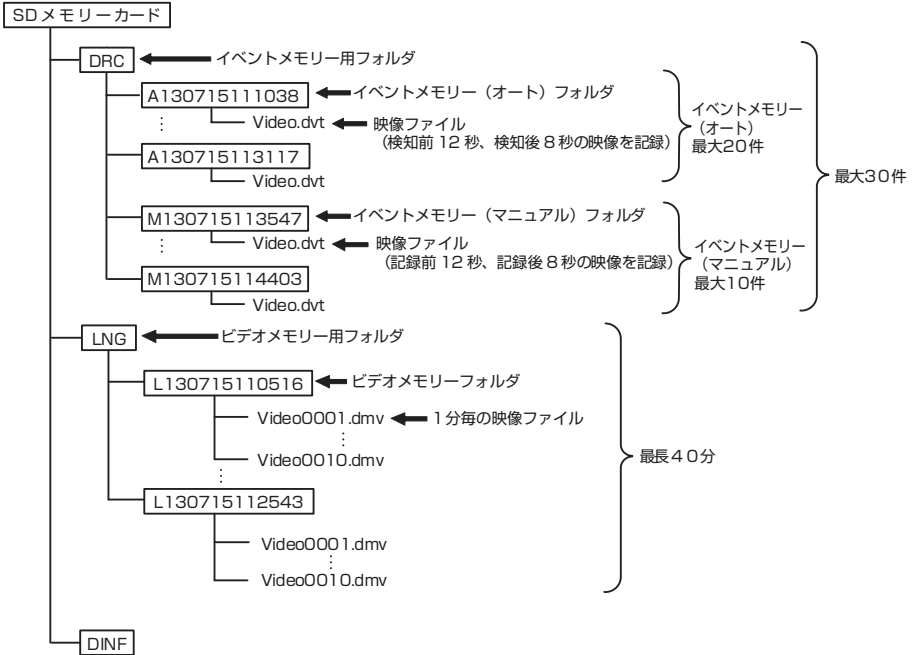
⚠ 注意

●映像を読み込む時や再生している時にエラーメッセージが表示され、映像が正しく再生されない場合は、映像データが破損している可能性があります。必要に応じて SD メモリーカードの映像データをパソコンのハードディスクに保存し、SD メモリーカードのフォーマットを行ってください。

⇒「記録した映像をパソコンに保存する」（P.34）参照
⇒「SD メモリーカードをフォーマットする」（P.45）参照

●ＳＤメモリーカードを抜くときは必ずパソコンで安全な取り外し操作を行ってください。

■ フォルダ構成

●SD メモリーカード内には、記録方法によってフォルダが分類されています。
　イベントメモリーのデータの場合　　：DRC のフォルダ
　ビデオメモリーのデータの場合　　　：LNG のフォルダ

●映像はトリガの種別により、以下のフォルダ名で保存されます。

イベントメモリー（オート）（衝撃検知）で保存した場合	：	A	YY	MM	DD	hh	mm	ss
			年	月	日	時	分	秒
イベントメモリー（マニュアル）（スイッチ操作）で保存した場合	：	M	YY	MM	DD	hh	mm	ss
			年	月	日	時	分	秒
ビデオメモリーで保存した場合	：	L	YY	MM	DD	hh	mm	ss
			年	月	日	時	分	秒

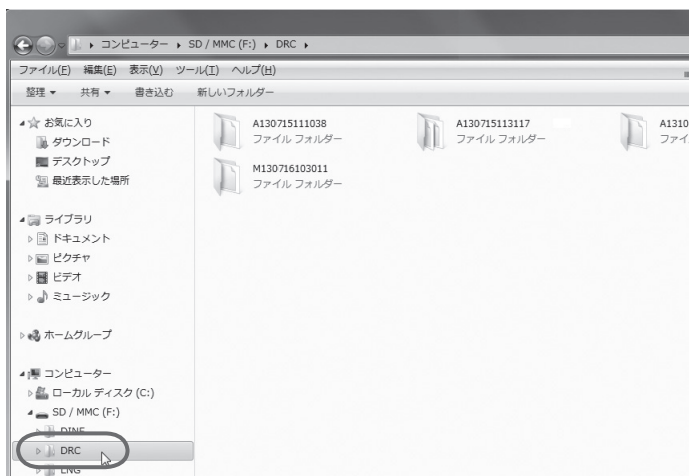
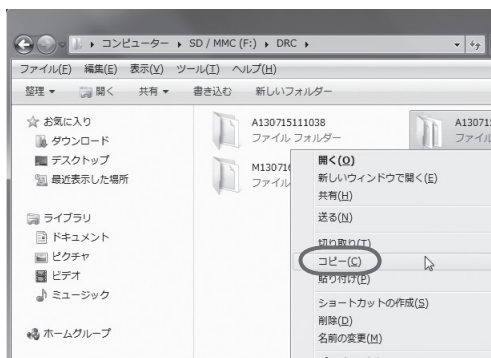
●ハードディスク上にある映像を再生する場合は、ハードディスク上の映像を保存しているフォルダを選択してください。

●1 つのフォルダの中に複数のデータが混在した場合は、データ種別で再生したいデータの種類を選択してください。混在していない場合は、データ種別の選択に関わらずデータの種類を自動判別します。

3 記録した映像をパソコンに保存する

SD メモリーカードは容量の関係から、保持しておける映像の数が限られています。SD メモリーカードの容量がいっぱいになると、古いフォルダから上書きしていきますので、古い映像を見ることができなくなります。そのため、必要であれば、SD メモリーカードの映像データはパソコンのハードディスクなどに保存してください。

1. 本体から抜いた SD メモリーカードを、カードリーダーなどを使用してパソコンへ挿入します。

2. エクスプローラで、SD メモリーカードのドライブを指定し、保存したい記録方法別のフォルダ（イベントメモリーは DRC、ビデオメモリーは LNG）を選択します。

3. 保存したい映像のフォルダをマウスで右クリックし、「コピー」を選択します。

> ⚠ **注意**
> 必ずフォルダごとコピーしてください。

4. 保存先のフォルダを指定して（ここではデスクトップにしています）、右の枠内をマウスで右クリックし、「貼り付け」を選択します。

保存したい映像のフォルダが、SD メモリーカードから指定した保存先へ保存されます。

⚠ 注意

コピー中にエラーメッセージが表示された場合、映像データが破損している可能性があります。再度やり直してもエラーメッセージが表示される場合は SD メモリーカードのフォーマットを行ってください。

⇒「SD メモリーカードをフォーマットする」（P.45）参照

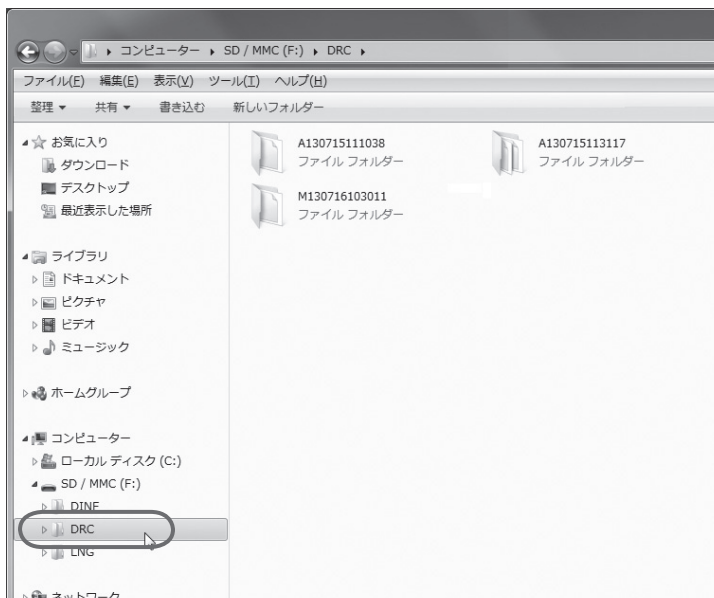
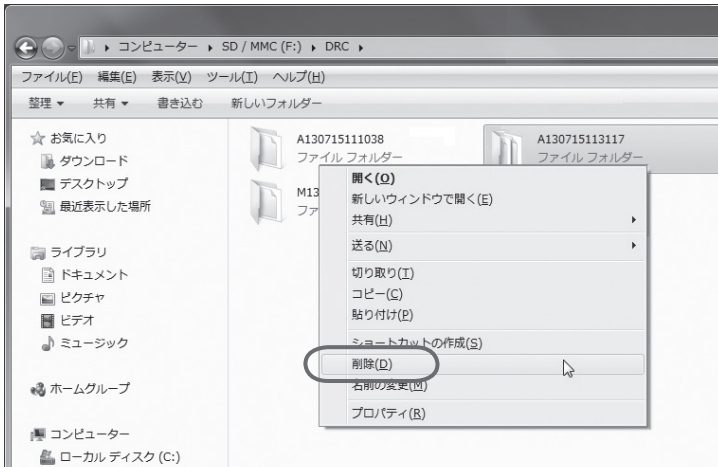
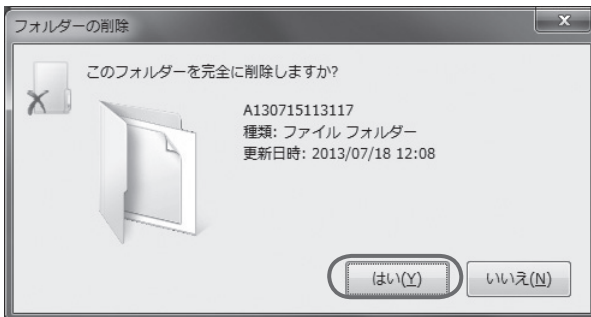
4 記録した映像を SD メモリーカードから消去する

映像が不要であればパソコンで映像を削除することができます。通常､SD メモリーカードがいっぱいになると、古い映像を上書きしますので、必ずしも削除する必要はありません。ただし、ビデオメモリーの上書き設定で「しない」にした場合、上書きされませんので削除が必要になります。

⚠ **注意**

- ●映像を削除する時は、SD メモリーカードをフォーマットするのではなく、フォルダのみを削除し、フォルダ以外を削除しないようにご注意ください。
- ●SD メモリーカード上のファイルやフォルダを削除すると、元に戻すことはできませんので、操作には十分にご注意ください。

1. 本体から抜いた SD メモリーカードを、カードリーダーなどを使用してパソコンへ挿入します。

2. エクスプローラで、SD メモリーカードのドライブを指定し、消去したい記録方法別のフォルダ（イベントメモリーは DRC、ビデオメモリーは LNG）を選択します。

3. 削除したい映像のフォルダを指定します。マウスで右クリックし、「削除」を選択します。

4. 確認ダイアログが表示されますので、[はい] ボタンをクリックしてください。

削除が完了しました。他の削除したい映像がある場合は同様の操作を繰り返してください。

5 本体の設定を変更する

SD メモリーカードを介して、ビューアーソフト上から本体の設定を変更することができます。変更が可能なものは以下の通りです。

(1)　ビデオメモリーの記録モード
手動モード（上書きなし）／手動モード（上書きあり）／自動モードの 3 つのモードから選択します。

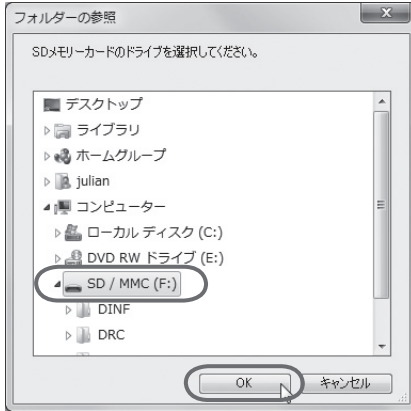
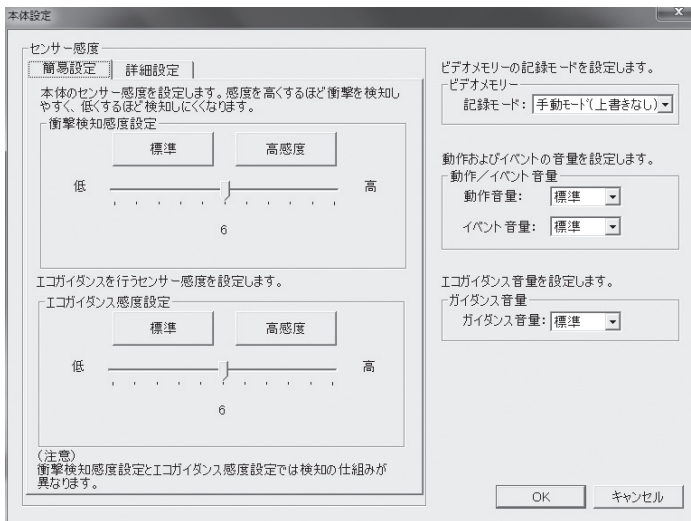
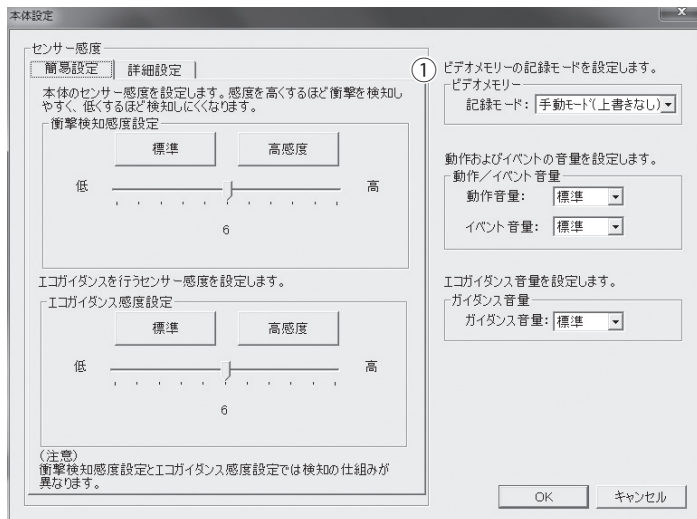
(2)　センサー感度
イベントメモリーの際に映像が撮れすぎる場合や撮れにくい場合は、センサー感度を調節します。センサー感度は少しずつ変更し、「撮れすぎる」・「撮れにくい」をその都度確認してください。

(3)　音量
動作音量、イベント音量、エコガイダンス音量をそれぞれ調節します。大、標準、OFF の 3 段階から選んでください。

> ⚠ **注意**
> ●センサー感度はむやみに変更しないでください。
> ●センサー感度を変更する前に、本体のオフセット設定（P.11 参照）を再度実施してください。それでも改善しない場合にセンサー感度を変更してください。
> ●センサー感度を低くした場合、不要なデータは撮りにくくなりますが、必要なデータまで撮れなくなる可能性も高くなりますのでご注意ください。

1. 本体から抜いた SD メモリーカードを、カードリーダーなどを使用してパソコンへ挿入します。

2. ビューアーソフトを起動し、メニューの「設定」－「本体設定」を選択します。

3. SD メモリーカードのドライブを指定し、[OK] ボタンをクリックします。

本体設定画面が表示されます。SD メモリーカードを正しく読み込めた場合は、以前に動作していた設定が表示されます。

4. ビデオメモリーの記録モードを設定します。

① ビデオメモリーの記録モードの設定を変更します。
以下の3つのモードから選択します。

- 手動モード（上書きなし）
- 手動モード（上書きあり）
- 自動モード

ワンポイント

常時録画するためには、自動モードを選択してください。

5. センサーの感度を設定します。

センサーの簡易設定

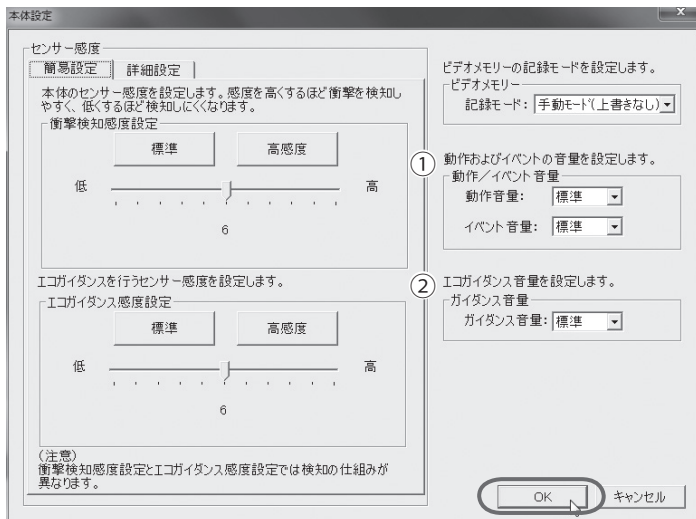
センサーの詳細設定

※ 簡易設定と詳細設定は連動しています。

① センサー感度を標準的な値にします。
② センサー感度を高い値にします。
③ センサーの感度を細かく設定できます。設定範囲 :1 ～ 11
④ センサーの感度をさらに細かく 0.01G 単位で設定できます。
設定範囲：0.30G ～ 0.60G
⑤ エコガイダンスを行うセンサー感度を設定します。
⑥ エコガイダンスを行う感度をさらに細かく 0.01G 単位で設定できます。
設定範囲：0.30G ～ 0.50G

ワンポイント

●センサー感度を高くするほど映像が撮れやすくなります。
●SD メモリーカードを本体に挿入する前にパソコン上で設定画面を開くと調整前の値が表示されますが（数値は本体挿入後に変更されます）、SD メモリーカードには調整した値を記録しています。

6. 音量を設定します。

① 映像を記録する時などに鳴る動作音、またはイベント音量を指定します。

② エコガイダンス（P.17）の音量を指定します。

7. [OK] ボタンをクリックします。

SD メモリーカードへ設定を保存します。設定値を保存した SD メモリーカードを用いて、次回にエンジンキーをオンしたときに、自動的に値が反映されます。

> ⚠ **注意**
>
> 設定変更後は、実際の運転と照らし合わせて、撮れすぎるまたは撮れにくいといったことが無いか確認してください。その際、**急発進、急ブレーキ、急ハンドル等の危険運転をすることは絶対におやめください。**

6 本体の日時を修正する

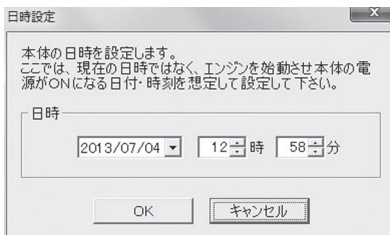
本体では内部に時計を持っており日時を保持していますが、長期間にわたり電源が供給されない状態が続くと日時がずれる場合があります。日時が大幅にずれている場合や日時異常になった場合、以下の手順で日時を修正してください。

ワンポイント

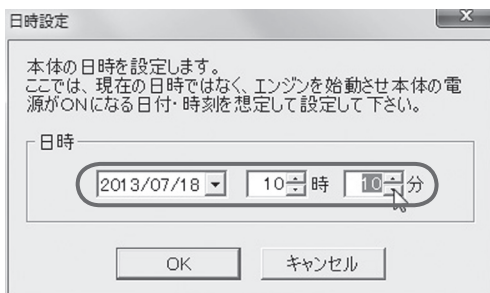
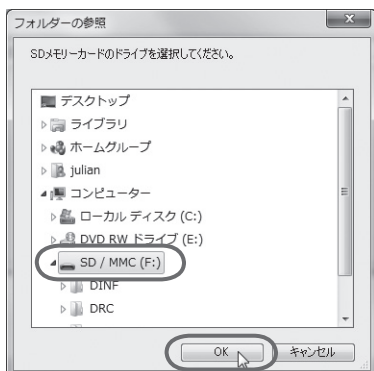
ご購入直後はずれている可能性がありますので、一度映像を試し撮りして、映像の日時を確認してください。また、定期的に確認してください。

1. 本体から抜いた SD メモリーカードを、カードリーダーなどを使用してパソコンへ挿入します。

2. ビューアーソフトを起動し、メニューの「設定」－「日時設定」を選択します。

日時設定画面が表示されます。

ワンポイント

設定画面に最初に表示されるのはパソコンに内蔵されている時計の時刻です。ドライブレコーダー本体の時計時刻ではありません。

3. 日時を設定します。現在の日時ではなく、次回にエンジンスイッチ「ON」または「ACC」にする日付と時刻を設定してください。

4. [OK] ボタンをクリックします。書き込み先選択ダイアログが表示されるので、書込み先として SD メモリーカードを指定し、[OK] ボタンをクリックします。

SD メモリーカードへ設定を保存します。設定値を保存した SD メモリーカードを用いて、次回にエンジンキーをオンしたときに、自動的に値が反映されます。

7 SD メモリーカードをフォーマットする

映像を再生したり、映像データをコピーしたりする際にエラーが表示される時は、SD メモリーカードのデータが破損している可能性があります。本手順で SD メモリーカードのフォーマットを行ってください。

⚠ 注意

●基本的に SD メモリーカードのフォーマットは必要ありません。SD メモリーカードで書き込み・読み込みエラーが発生する場合、または本体が起動しない場合のみフォーマットをしてください。
●フォーマットを行うと、SD メモリーカードのビューアーソフトおよび映像データは削除されます。
・ビューアーソフトをパソコンへ保存していない場合は、ソフトをパソコンへ保存してください。また、必要な映像はパソコンへ保存してください。
⇒「ビューアーソフトをコピーする」（P.25）参照
⇒「記録した映像をパソコンに保存する」（P.34）参照

1. SD メモリーカードフォーマットソフトウェアを準備する。

SD メモリーカードフォーマットソフトウェアをお使いのパソコンへインストールします。インストール手順は、弊社ホームページを参照ください。

① Internet Explorer などのウェブブラウザを起動し、弊社ホームページへアクセスします。弊社ホームページのアプリケーションソフトダウンロードの URL は下記のとおりです。

http://www.e-iserv.jp/top/

② 「ドライブレコーダービューアーソフトダウンロード」を選択してください。
③ 「SD メモリーカードフォーマットソフトウェア」を選択してください。
④ 記述している手順に従って、SD メモリーカードフォーマットソフトウェアをインストールしてください。

2. SD メモリーカードフォーマットソフトウェアを起動します。

「スタート」－「すべてのプログラム」－「SD Formatter」－「SD Formatter JP」を選択します。

3. オプションを選択し、[フォーマット] ボタンをクリックします。

⚠ **注意**

Drive:がSDメモリーカードを挿入したドライブになっていることを確認した上でフォーマットしてください。

異なるドライブが選択されている場合は、「更新」ボタンをクリックし、SDメモリーカードを挿入したドライブを選択してください。

4. フォーマットが終わると、確認ダイアログが表示されるので、[OK] ボタンをクリックします。

5. [終了] ボタンをクリックします。

8 ヘルプを表示する

以下の手順でヘルプを表示します。ヘルプでは画面上の各ボタンの説明をしています。

1. メニューの「ヘルプ」－「ヘルプ」を選択します。

ビューアーソフトのヘルプを表示します。

9 バージョン情報を表示する

以下の手順でビューアーソフトのバージョン情報を表示します。

1. メニューの「ヘルプ」－「バージョン情報」を選択します。

ビューアーソフトのバージョン情報を表示します。

10 ビューアーソフトを消してしまった場合

誤ってビューアーソフトを消してしまった場合は、弊社ホームページよりビューアーソフトをダウンロードしてください。

1. Internet Explorer などのウェブブラウザを起動し、弊社ホームページへアクセスします。弊社ホームページのアプリケーションソフトダウンロードの URL は下記の通りです。

http://www.e-iserv.jp/top/

> ⚠ **注意**
>
> 弊社ホームページは、2 ヶ月に 1 回程度の割合で、メンテナンスのために 1 日中アクセスできなくなることがあります。予めご了承ください。

2. 「ドライブレコーダービューアーソフトダウンロード」を選択してください。

3. DREC3500mkII の「ビューアーソフトダウンロード」を選択してください。

4. 使用許諾条件と免責事項をよく読み、「同意する」を選択してください。

5. 表示されたホームページからビューアーソフトをダウンロードし、デスクトップへ保存します。

■ よくある質問

本体

質問事項	回　答
カメラを横向きに調整できないの？	左右方向の調整はできません。
記録した音声が小さいのですが？	本体内蔵のマイク (集音部) が覆われるようなところへ取付けていないか確認願います。
本体を縦に取り付けたいんですけど、何か問題はありますか？	問題ありません。 本体取付け後、必ずオフセット操作を行ってください。（P.11）
車両の電源を入れても LED が点灯しない／電源が入らないんですが？	本体に電源が供給されていない可能性がありますので、電源の接続をご確認願います。シガーライターで接続している場合は、接触不良等が考えられますので、接触をご確認願います。シガーライター内が汚れている場合は、清掃をお願いします。
シガーライターの形状が合わないけど大丈夫？	シガーライターの形状が合わない場合は、同梱の接続コードを使用し、取付説明書をご確認のうえ、車両から電源を取得してください。
動作確認はどうやって行うのか？	動作確認手順（「取付説明書」参照）に従いスイッチを押下して映像が撮影されているかパソコンで確認願います。くれぐれも、公道で本機が衝撃を検知するかを確かめるため故意に危険な運転をすることなどは、絶対におやめください。
カメラが正常に取り付けられたかどうか確認するには？	スイッチを押下して映像が撮影されているかパソコンで確認願います。ビデオ接続している場合は、記録した映像を車載モニターで確認できます。
電源ケーブルの長さが足りないけど？	電源ケーブル長は 3.5 mになっています。どうしても長さが足りない場合は本体の取付位置を変更してください。 (ただし、運転の妨げにならない場所に取り付けてください)
本体をダッシュボード上に取付けてもいいですか？	本体はダッシュボード上など直射日光が当たり続けるところへは取付けないで下さい。本機が高温となり、故障の原因となることがあります。
データを自分で消すことはできるのか？	パソコンから SD メモリーカード内の映像が入ったフォルダを削除することでデータを消すことが出来ます。（P.36）
カーナビとの接続で映像を見ることはできないの？	別売のビデオ出力コード（DRV020）を使い、映像のみをナビゲーションの画面で見ることができますが、音声の確認および本体の設定を変更するためにはパソコンが必要です。（「取付説明書」参照）
ブラインドコーナーモニター、バックガイドモニターの映像を残すことはできないの？	ブラインドコーナーモニター、バックガイドモニターと接続することも、ブラインドコーナーモニター、バックガイドモニターの映像を記録することもできません。
ガイダンス音声が小さくて聞こえないのですが、大きくできないの？	音量設定画面（P.22）、またはビューアーソフト（P.38）で音量を変更できます。

質問事項	回　答
事故の衝撃でバッテリが外れても記録できますか？	事故の衝撃でバッテリが外れたり、シガーライター電源プラグが外れることを想定し、バックアップ電源を内蔵しています。バックアップ電源により、電源遮断前※の映像を記録しますが、必ず、記録することを保証するものではありません。 ※映像のフレーム数を落としています。バックアップ電源は充電式のため、電源オン直後や低温下では、バックアップできない場合があります。
専用のＳＤメモリーカードが壊れたけどどうすればいいですか？	SD メモリーカードのフォーマットを行ってください。（P.45） 市販のＳＤメモリーカードをご購入されても、正常に動作しませんのでご注意ください。
事故で壊れた場合、修理はしてもらえるの？	事故などで強い衝撃を受けて壊れた場合は、部品故障の発生が懸念され、修理後の品質保証ができかねますので、修理をお受けすることはできません。
記録時間を変更したいんですけど？	イベントメモリーの記録時間は検知前 12 秒、検知後 8 秒と固定されているため、変更できません。ビデオメモリーは最長 40 分まで記録でき、手動モードでは記録スイッチ（＋ボタン）を 3 秒以上押し続けることによって、40 分以内の範囲で記録時間の調整が可能です。自動モードでは、エンジンキーをオンにしてからオフにするまでの間、記録し続けるため、記録時間の調整はできません。
記録したはずの映像がないんだけど？	記録できる映像はイベントメモリー（オート）20 件、イベントメモリー（マニュアル）10 件、ビデオメモリー最長 40 分（ビデオメモリー手動モード（上書きなし）を除く）です。（P.14、P.16） これを越える場合は、古いものから上書き保存していきますので、必要に応じて、SD メモリーカードのデータをパソコンのハードディスクなどに保存してください。また、SD メモリーカードの書き込み禁止スイッチが「LOCK」になっている場合も保存されません。
映像が記録されすぎるのですが？	ビューアーソフトでセンサー感度を調整する（P.38）ことができます。その前に再度オフセット設定を行ってください。（P.11）
信号の色が記録されないことがあるけど故障？	映像の記録周期と LED 方式の信号の周期によっては一瞬信号が消えて見える場合がありますが、前後の映像や周辺の車の動き等から判断してください。
エンジンを切っても電源が切れないんですけど？	電源はシガーライターから取っていますか？車両によっては常時、電源供給されている場合があります。その場合は、同梱の接続コードを使用し、取付説明書をご確認のうえ、車両から電源を取得してください。電源を車両から取っている場合は、接続をご確認願います。

質問事項	回　答
本体が起動しないのですが？	専用のＳＤメモリーカードは挿入されていますか？ＳＤメモリーカードが挿入されていない時は、ＳＤメモリーカードを挿入してください。ＳＤメモリーカードが挿入されているにも関わらず本体が起動しない場合は、ＳＤメモリーカードの異常が考えられます。ＳＤメモリーカードのフォーマットを行ってください。（P.45）
ＳＤメモリーカードに、映像が記録できないんですが？	次の理由により正常に動作していない可能性がありますので、ご確認ください。 ・オフセット設定は完了していますか？完了していない場合は、オフセット設定を再度行ってください。（P.11） ・本体はしっかりと固定されていますか？しっかりと固定されていないと、衝撃を正しく検知できず動作しない場合があります。再度取り付けを行ってください。 ・ＳＤメモリーカードに異常はありませんか？異常がある場合は、ＳＤメモリーカードのフォーマットを行ってください。（P.45） ・ＳＤメモリーカードの書き込み禁止スイッチが「LOCK」されていませんか？「LOCK」されている場合は解除してください。

ビューアーソフト

質問事項	回　答
パソコンを持っていませんが見ることができますか？	別売のビデオ出力コード（DRV020）を使い映像のみを車載モニターで見ることができますが、音声の確認および本体の設定を変更するためにはパソコンが必要です。（「取付説明書」参照）
事故を起こした際、自分に不利な映像でも相手に提出しなければいけない？	提出する義務はありません。
ビューアーソフトで撮影日時（検知種別）が表示されず､「映像情報が欠落している・・・」と表示されたんですが？	本体は､検知日時や検知種別などの情報データを､映像と共にカードに記録しますが、データ書込み中のカード抜けや、電源断などの原因により、情報データが正しく書き込めなかった場合に表示されます。
イベントメモリーの記録時間が 20 秒未満のデータがありますが、これは故障ですか？	映像をＳＤメモリーカードに記録している時間（20 秒）の直後に新たな記録トリガが発生した場合、二つ目の映像の記録時間が 20 秒未満になる場合があります。故障ではありません。
イベントメモリーの記録時間が 20 秒以上のデータがありますが、これは故障ですか？	映像をＳＤメモリーカードに記録している時間（20 秒）の間に新たな記録トリガが発生した場合、映像の記録時間が延長されて 20 秒以上になる場合があります。故障ではありません。
記録できた映像は、事故の証拠として認められるのですか？	本機は､事故の検証に役立つことも目的の一つとした製品ですが､完全な証拠としての効力を保証するものではありません。
パソコンの OS が Windows 98、ME、Windows 2000 ですが映像は見ることができますか？	見ることはできません。対応 OS は Windows XP（SP3 以降 32 ビット版のみ)、Windows Vista（SP2 以降）および Windows 7､Windows 8 です｡それ以外の OS では､ビューアーソフトは起動しても再生が正しく行われないことがあります。
古いパソコンを使っていますが、新しいパソコンは必要ですか？	Windows XP、Windows Vista および Windows 7、Windows 8 の OS が快適に動作するパソコンであれば、新しいパソコンは必ずしも必要ではありません。
記録した映像は、Windows Media Player 等の汎用ソフトで見ることはできますか？	できません。付属の DREC3500 映像ビューアーでのみ再生が可能です。
ビューアーソフトを消してしまいました。	ビューアーソフトはＳＤメモリーカードの中に入っています。ＳＤメモリーカードからデスクトップへコピーしてください。 また、弊社ホームページからもダウンロードが可能です。 ⇒「ビューアーソフトを消してしまった場合」（P.49）参照。
パソコンにＳＤメモリーカードを挿入しても認識しないんですが？	ＳＤメモリーカードが正しく挿入されていない可能性があります。再度ＳＤメモリーカードを挿入しなおしてください。また、カードリーダーを使用している場合、カードリーダー自体が正しくパソコンで認識出来ていない可能性もあります。カードリーダー付属の説明書を参照してください。

質問事項	回　答
ビューアーソフトが起動しないんですが？	お使いのパソコンのOSはWindows XP（SP3以降）、Windows Vista（SP2以降）またはWindows 7、Windows 8ですか？ビューアーソフトは、Windows XPより古いOSや、MacやLinuxなど他のOSでは起動しません。もし、OSが正しいにも関わらず起動しない場合は、ビューアーソフトのファイルが壊れている可能性がありますので、専用サイトからダウンロードしてください。 ⇒「ビューアーソフトを消してしまった場合」(P.49) 参照。
再生ボタンを押しても、映像の再生が始まらないんですが？	再度フォルダを開いて、再生を行ってください。それでも再生されない場合は、映像ファイルが壊れている可能性があります。ファイルが壊れた場合、再生はできませんので、フォルダごと削除してください。
再生ボタンを押しても映像は再生されるが、音が出ないんですが？	ビューアーの音量設定が最小になっていませんか？設定をご確認ください。（P.30） またパソコン側の音量設定が最小になっていないか、ご確認ください。設定変更しても音声が出ない場合、本体内蔵のマイク（集音部）が覆われるようなところへ取り付けていないか確認願います。
本体設定画面を開くと「設定ファイルを読み込めません」との警告が表示されるのですが？	本体設定画面を開く時には、本体が実際に動作していた時の設定記録ファイルをSDメモリーカードから読み込みます。 ご購入直後は、このファイルが存在しません。その場合、左記警告が表示されますが問題はありません。 そのままOKボタンを押してください。
本体設定画面でセンサー感度を変更して書き込みをしましたが、値が変更されていないようなのですが？	設定変更をした後、再度、設定画面を開いても変更内容は反映されません。ただし、設定を変更するためのファイルは更新されています。故障ではありません。 設定変更をした後、SDメモリーカードを車載機本体に挿入して起動させることで、設定内容は反映されます。
本体設定画面で音量を変更して書き込みをしましたが、値が変更されていないようなのですが？	設定変更をした後、再度、設定画面を開いても変更内容は反映されません。ただし、設定を変更するためのファイルは更新されています。故障ではありません。 設定変更をした後、SDメモリーカードを車載機本体に挿入して起動させることで、設定内容は反映されます。
イベント記録について、記録開始から検知前トリガまで11秒や13秒の映像があるのですが？	記録のタイミングとミリ秒単位の誤差により、見かけ上11秒や13秒になる場合があります。
再生時に映像が乱れたり音声が途切れたりするのですが？	ビューアーソフトを終了させ、再度ビューアーソフトを起動して映像を再生してください。

■ 仕様

本体

項　目	仕　様
動作温度範囲	− 20 ～+ 65℃ ※湿度 20 ～ 90% RH、結露なきこと
保存温度範囲	− 30 ～+ 85℃ ※湿度 20 ～ 90% RH、結露なきこと
電源電圧	10 V～ 32 V
消費電流	最大 1 A以下
外形寸法	横幅 113mm ×高さ 20mm ×奥行 70mm（突起部を除く）
質量	約 100 g
映像記録時間	イベントメモリー：20 秒（衝撃検知前 12 秒、検知後：8 秒） ビデオメモリー：最長 40 分（2GB メモリーカード使用時）
映像フレーム数	イベントメモリー：VGA サイズ（640 × 480 ピクセル）、30 フレーム／秒 ビデオメモリー：VGA サイズ（640 × 480 ピクセル）、10 フレーム／秒
記録可能件数	イベントメモリー（オート）20 件 イベントメモリー（マニュアル）10 件
時計精度	月差 13 秒
VIDEO 出力	NTSC（別売コードが必要）

カメラ

項　目	仕　様
動作温度範囲	− 20 ～+ 65℃ ※湿度 20 ～ 90% RH、結露なきこと
保存温度範囲	− 30 ～+ 85℃ ※湿度 20 ～ 90% RH、結露なきこと
供給電圧	5.1 V
消費電流	最大 120 m A
外形寸法	横幅 27mm ×高さ 22mm ×奥行 24mm（背面突起物を除く）
質量	約 30 g（ケーブルを除く）
撮影素子	1/4 型カラー CMOS
有効画素数	約 31 万画素
水平解像度	300 T V本（中心部）
画角	水平 135° ×垂直 105°

■ アフターサービスについて

1. この商品には保証書を添付しております。
保証書は販売店でお受けとりの際、必ず、「販売店名、お買い上げ日」などの記入および記載内容をお確かめのうえ、大切に保管してください。

2. 保証期間は、お買い上げ日から1年間です。

3. 調子が悪いとすぐ故障と考えがちですが、修理に出す前に本書の**「■よくある質問」**（P.50）を、もう一度よくご覧のうえ調べてください。簡単な調整やお手入れで直ることがあります。それでも具合が悪いときは、次により修理をお申しつけください。
◆ 修理の受け付けは、お求めの販売店が行います。
◆ 保証期間中は、商品に保証書を添えてお求めの販売店にお持ち込みください。
保証書に記載しております保証規定にもとづいて、無料で修理いたします。
※ 修理、点検に要する商品の脱着費用は、保証期間内においても基本的に有償となります。
◆ 保証期間が過ぎているときは、お客様のご希望によりまして、有料で修理をお引き受けいたしますのでお求めの販売店にお持ち込みください。

4. 出張による修理、点検は行っておりません。

5. この商品の補修用性能部品（機能を維持するために必要な部品）は、製造打ち切り後最低6年間保有しております。

商品に関するお問い合わせ先　アフターサービスについて

商品のアフターサービスに関するお問い合わせはお求めの販売店または下記「お客様相談窓口」へ

※修理のご依頼は、お求めの販売店へお願いいたします。

<お客様相談窓口>

富士通テン株式会社
「お客様相談窓口」
フリーダイヤル　0120−022210
携帯電話・PHSからもご利用になれます。
受付時間　午前10：00〜12：00、午後1：00〜5：00
（土・日・祝日などを除く）

製品の購入や組み合わせに関するお問い合わせ

販売店または販売会社に連絡してください。

<富士通テン販売株式会社>

東京本社	〒160-0023 東京都新宿区西新宿８丁目14番24号 （西新宿KFビル）	(03)5330-6244	東京、神奈川、千葉、山梨
札幌事務所	〒003-0809 札幌市白石区菊水９条２丁目２番38号	(011)821-2221	北海道全域
仙台事務所	〒983-0852 仙台市宮城野区榴岡３丁目４番18号 （タカノボル第22ビル）	(022)256-2291	東北地区
さいたま事務所	〒338-0004 埼玉県さいたま市中央区本町西４丁目18番１号	(048)859-2210	栃木、埼玉、群馬、茨城、新潟、長野
名古屋事務所	〒450-0003 名古屋市中村区名駅南３丁目11番10号	(052)581-8621	中部、北陸地区
西宮事務所	〒663-8241 西宮市津門大塚町７番35号	(0798)36-7481	兵庫、大阪、京都、滋賀、奈良、和歌山
広島事務所	〒734-0044 広島市南区西霞町２番25号	(082)255-2422	中国地区
高松事務所	〒760-0078 高松市今里町１丁目28番13号	(087)863-7020	四国地区
福岡事務所	〒815-0031 福岡市南区清水４丁目４番34号	(092)511-3210	九州全域、沖縄